

インターハイ予選の結果

関東大会が終了して、すぐにインターハイ予選が始まりました。都立高校の大半は、この大会後から進路活動に入るため、全員揃っての参加は最後になります。

本校はシード校として2日目からの出場になりましたが、対戦相手は4回戦を勝ち上がった文大杉並高校でした。攻守にバランスが良く、ミドルにエースがいるチームでした。4つ勝っているだけあって大変勢いのあるチームでした。途中ブロックを抜かれることもありましたが、終わってみれば2-0のストレート勝ちを収め、都ベスト16をキープしました。

翌週の都ベスト8決めは、二階堂高校でしたが、新人戦では下北沢成徳高校相手にフルセットに持ち込んだチームだけあって、攻守バランスに優れたチームでした。序盤セッターのテンポの速いバレーに苦しみましたが、少しずつ慣れてくると、サーブで崩し、ブロックが決まるようになってきました。1セット目を先取して、ストレート勝ちを狙いましたが、2セット目はサーブで崩され、後手にまわる展開が続く、我慢のバレーとなりました。終盤にやっとチャンスボールが返ってきて、こちらの決定機になりましたが、ミスが出てしまい、逆に相手に決められてしまいました。それで2セット目を失うと、3セット目は相手の勢いを止めることが出来ずに敗退してしまいました。続く順位決めも負の流れを止めることができず、結果、東京都13位でインターハイ予選が終了しました。

今後、全日本高校選手権大会に向け、新チーム中心でスタートします。3年生は一旦区切りの大会となりましたが、ここまで本当に頑張ってくれました。後輩たちが伝統を引き継いでくれると思います。皆様応援ありがとうございました。

【詳細】 6月7日(日) 都ベスト16決め ・ 14日(日) 都ベスト8決め

- 5回戦(東京都ベスト16決め)

府中高校 — 文大杉並

25 — 17

25 — 14 2-0 勝

- 6回戦(東京都ベスト8決め)

府中高校 — 二階堂高校

25 — 21

23 — 25

17 — 25 1-2 負

- 9位決め

府中高校 — 東京立正

17 — 25

17 — 25 0-2 負

東京都ベスト16